

令和4年9月17日

全国保健所長会

公衆衛生医師合同相談会 PHCC2022

公衆衛生医師の役割とキャリアパス

大阪府健康医療部 宮園将哉

公衆衛生医師とは

- 国や地方自治体など、主に行政機関で働く医師を指す。
- 国の機関では「医系技官」と呼ばれることが多い。
- 地方自治体では多くが保健所や都道府県庁などで勤務する。
- わが国では保健所長は医師であることが定められている。
- 一部の自治体では「行政医師」と呼ぶところもある。
- 大学等で公衆衛生分野の研究をする医師も含むことがある。
*近年では社会医学系専門医と区別することもある

公衆衛生医師の仕事

感染症対策、生活習慣病やがんの予防、母子保健、精神保健、難病対策、食品や環境などの生活衛生、医療・薬事、地域包括ケアや健康危機管理など、多岐にわたる分野において、地域の住民全体の医療や健康レベルの維持向上のための仕組み・ルール・システムづくりなどを通じて地域の人々の健康を支える。

(出典：厚生労働省ウェブサイトの記載から一部改変)

公衆衛生医師が従事する業務

○自治体、勤務先、役職によって大きく異なる

・都道府県型保健所の場合（例）

医事、薬事、医療計画、医療介護連携・地域包括ケアシステム、健康づくり、生活衛生、感染症対策、難病対策、精神保健福祉 など

・市区型保健所の保健センターの場合（例）

母子保健、成人保健、感染症対策、難病対策、精神保健福祉、健康づくり、医療介護連携・地域包括ケアシステム、高齢介護 など

・都道府県庁の場合（例）

医療計画、医療介護連携・地域包括ケアシステム、救急・災害医療対策、感染症対策、健康づくり、がん・生活習慣病対策、母子保健、難病対策、精神保健福祉 など

・市区役所の場合（例）

医療介護連携・地域包括ケアシステム、感染症対策、健康づくり、がん・生活習慣病対策、母子保健、難病対策、精神保健福祉 など

公衆衛生医師≡ 社会医学系専門医が持つべき能力とは

○コア・コンピテンシー

- ・ 基礎的な臨床能力
- ・ 分析評価能力
- ・ 課題解決能力
- ・ コミュニケーション能力
- ・ パートナーシップの構築能力
- ・ 教育・指導能力
- ・ 研究推進と成果の還元能力
- ・ 倫理的行動能力

(出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準)

公衆衛生医師≡ 社会医学系専門医の到達目標

○専門技能

- ・ 社会的疾病管理能力
- ・ 健康危機管理能力
- ・ 医療・保健資源調整能力

○専門知識

- ・ 公衆衛生総論
- ・ 保健医療政策
- ・ 疫学・医学統計学
- ・ 行動科学
- ・ 組織経営・管理
- ・ 健康危機管理
- ・ 環境・産業保健

(出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準)

公衆衛生医師≡ 社会医学系専門医の経験目標

○総括的な課題（全項目が必須）

- ・ 組織マネジメント
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ プロセスマネジメント
- ・ 医療・健康情報の管理
- ・ 保健・医療・福祉サービスの評価
- ・ 疫学・統計学的アプローチ

○各論的な課題（全22項目中3項目の経験が必要）

- ・ 保健対策（母子保健ほか 6項目）
- ・ 疾病・障害者対策（感染症対策ほか 4項目）
- ・ 環境衛生管理（生活環境衛生ほか 3項目）
- ・ 健康危機管理（パンデミック対策ほか 5項目）
- ・ 医療・健康関連システム管理
（医療・保健サービスの安全および質の管理ほか 4項目）

（出典：社会医学系専門医協会 専門研修プログラム整備基準）

公衆衛生医師のキャリアパス

○医師個人で様々なキャリアパスが存在する

- ・ **ファーストキャリア型**

臨床研修終了後すぐに都道府県市に入職。 行政の経験を若手のうちから十分積みながらキャリアアップしていく。

- ・ **セカンドキャリア型**

5～15年程度の臨床経験を積んでから35～40歳ごろに キャリアチェンジ。臨床での経験を踏まえつつ行政でも若手としての経験を積みながらキャリアアップしていく。

- ・ **ラストキャリア型**

25年程度の臨床経験を積んでから45～50歳ごろに キャリアチェンジ。長い臨床経験が公衆衛生行政の中で活かされることも多い。

一般的な医師に求められる能力とは

○コア・コンピテンシー

- ・能力・行動特性

○プロフェッショナリズム

- ・専門性
- ・知識・スキル・態度・行動
- ・実際の仕事ぶり

○医師の役割

- ・治療者（癒し手）
- ・専門職（プロフェッショナル）

なぜ公衆衛生医師が必要なのか？ 公衆衛生医師に求められる能力や役割とは？

- ・ 医学的知識（≡「通訳」的な役割）
 - ・ 分析評価能力（≡データを読み解く能力）
 - ・ 課題解決能力（≡診断に基づき治療をする能力）
 - ・ コミュニケーション能力（≡患者と向き合う能力）
 - ・ マネジメント能力（≡チーム医療のリーダーの能力）
- +
- ・ 社会人・行政職員としての能力
- ↓
- ・ 医療行為はあまり必要がないため医師である必要はないが、多くの医師が持つ能力は行政の中で活かせるのではないか
 - ・ 保健所長など、医学的知識が必要かつマネジメント能力が求められる役割が向いているのではないか